

市政記者各位

令和8年10月13日

## 「Fukuoka Art Next」今月のアート(10月)

福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、市民が身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む「Fukuoka Art Next」を推進しています。

その事業の一環として、奇数月初めの定例会見に、福岡で活躍しているアーティストの作品を紹介します。

### ■アーティストについて

#### 小原秀隆(おばら ひでたか)

1964年福岡市生まれ。地学の教員として教育現場に携わりながら、在職中より絵画制作を行う。「地球とヒトとのかかわり」を主題とした心象風景を油彩や3DCGなどで表現している。近年はSDGs(持続可能な開発目標)の17個のテーマに沿った作品を制作している。二紀会準会員。福岡にて個展を7回開催。「Fukuoka Wall Art Project 2025」入賞。

### ■作品について



作家名 : 小原秀隆

作品名 : TEN・BURA・SDGs11

制作年 : 2025年

材質技法: デジタルプリント・キャンバス

サイズ : 45.0×53.0 (cm)

少女、ニワトリ、アンモナイト、恐竜など、古今東西の生き物が福岡のまちを歩いています。みんなで天神に遊びに行くところです。タイトルの「てんぶら」とは、「天神に行ってぶらぶらと歩いて楽しむ」という俗語。動物も植物も、光に照らされて生き生きとしています。

この作品は、SDGs 11番目の目標「住み続けられるまちづくりを」をテーマにし、福岡が生き物たちにも優しいまちであってほしいという願いが込められています。

#### 【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課 担当: 忠

TEL: 714-6054 FAX: 714-6145

E-mail: chu.a01@city.fukuoka.lg.jp